



平成 18 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社ディースリー  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 裕二  
( J A S D A Q ・ コード 4 3 1 1 )  
問合せ先  
役職・氏名 常務取締役小寺 健治  
電話番号 0 3 - 5 4 2 8 - 8 8 3 0

当社の親会社 株式会社フィールズ  
代表者名 代表取締役社長 山本 英俊  
( J A S D A Q ・ コード 2 7 6 7 )

### 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 3 月期 (平成 17 年 11 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 17 年 12 月 13 日付当社「平成 17 年 10 月期決算短信 (連結)」及び同日付当社「平成 17 年 10 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 平成 18 年 3 月期 連結業績予想数値の修正等

(1) 通期 (平成 17 年 11 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	2,347	57	10
今回修正 (B)	2,319	30	139
増減額 (B - A)	28	88	149
増減率 (%)	1.2	-	-
前期実績 (平成 17 年 10 月)	4,358	473	116

(注) 平成 18 年 3 月期につきましては決算期変更により 5 ヶ月決算となっております。

#### 2. 平成 18 年 3 月期 単独業績予想数値の修正等

(1) 通期 (平成 17 年 11 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,488	340	167
今回修正 (B)	1,428	296	168
増減額 (B - A)	59	44	1
増減率 (%)	4.0	13.1	0.7
前期実績 (平成 17 年 10 月)	3,836	652	232

(注) 平成 18 年 3 月期につきましては決算期変更により 5 ヶ月決算となっております。

### 3. 修正理由

#### (1) 個別概況

売上高につきましては、ネットワーク事業において、携帯電話向けゲームコンテンツ「SIMPLE100 シリーズ」の会員増により売上増加となりましたが、パッケージソフト事業において、「SIMPLE2000 シリーズ」等の低価格ゲームソフトで、一部のタイトルの発売が翌期にずれ込んだこと等により、1,428 百万円（前回予想比 59 百万円の減少）となる見込みであります。

経常利益につきましては、売上高にかかる要因の他、パッケージソフト事業におけるフルプライスゲームソフトの売上構成が当初の見込より著作権を利用したタイトルの比率が大きくなったことに伴い、著作権使用料の増加等の売上原価の増加要因があったこと、またパッケージソフト事業における販促活動の強化にともなう広告宣伝費の増加等により、296 百万円（前回予想比 44 百万円の減少）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、過年度に発生した破産更生債権の処理に伴い貸倒引当金戻入益を特別利益に計上したこと等により、168 百万円（前回予想比 1 百万円の増加）となる見込みであります。

#### (2) 連結概況

売上高につきましては、単独での業績の状況の他、中長期での連結利益の最大化を目的として欧州地域における当社グループのゲームソフトの発売を合併会社である D3DB S.r.l. から昨年末に設立した完全子会社 D3Publisher of Europe Ltd.への切り換えをおこない、欧州地域における新作ゲームソフトの発売が一時的に縮小したこと等により、2,319 百万円（前回予想比 28 百万円の減少）となる見込みであります。

経常利益につきましては、単独での業績の状況の他、北米地域において D3Publishe of America, Inc. より「NARUTO」を発売し、売上は順調に推移いたしましたが、昨年 11 月に発売した「Hi Hi Puffy AmiYumi」にかかる売上値引き及び返品に対する引当の計上等により D3Publisher of America, Inc. で当期に予定していた経常損失が増加する見込となったこと、欧州地域においても D3Publisher of Europe Ltd.での事業展開の準備のために人材採用費等のコストの増加要因があったこと等により、30 百万円（前回予想比 88 百万円の減少）となる見込みであります。

当期純利益につきましては、経常利益にかかる要因の他、海外子会社での経常損失の計上等によりグループ全体の実効税率が増加しているため、139 百万円（前回予想比 149 百万円の減少）となる見込みであります。

なお、平成 19 年 3 月期（連結・個別）の見込みにつきましては、平成 18 年 5 月 8 日に予定しております決算発表時に公表させていただきますが、引き続き海外市場におけるヒット作品の企画・開発と国内市場におけるパッケージソフト事業等の収益拡大に努めてまいります。

以 上